

期待しています！

みんなの議会



情報の収集



武田篤子さん
桑原二丁目

市民の声を届けて

「市を良くしたい。まちを良くしたい。」議員だけでなく市民も考えています。議会で発言できるのは、議員だけ。市民の声を行政に届け

ていくのが、議員の務めだと思います。

まちづくり活動や行事の場で、議員の姿が見えません。街なかで、情報集めをしている議員に出会いません。議員は、市民の声を吸い上げているのでしょうか。

一般質問での議員の意見。国政への意見や、市民とのつながりがいい意見がみられません。私たち一般市民から話を聞いて、具体的な意見を述べてほしいですね。

会派の意義



小林好野さん
押分中梓

提言できる会派に

岩沼市議会には、五つの会派があり、政務調査費が一人当たり年8万円支払われています。県議会や仙台市議会とは比べられません

が、政務調査費は市民のために議員自らの研修・研さんに使うべきものではないでしょうか。会派報告会などで市民に伝える義務があるのでは。私たちには会派の姿が見えません。議会内の活動なのでしょうか。

市民との距離感をなくし、意識・情報を共有しながら、政策提言できる会派がこれからの市議会には必要とされるのではないのでしょうか。

私もひとこと

傍聴席から

6月議会（傍聴者数10）

60代 女性

傍聴できなかった内容が読めてよい。以前より読みやすくなった。

60代 男性

良く作られている。特に最近の表紙の写真は素晴らしい。

市議会だよりの感想

60代 女性

議会日程が分かりづらい。事前に知る方法はあるのか。

60代 男性

7月7日、2階「暑いな」と感じた。

70代 男性

以前傍聴したときに「市役所は暗い感じ」との質問があり同感である。一部には役人意識が強く心配も悪い。職員の接遇研修が必要と思う。

60代 男性

国保税が値上げになるが、議員は何名加入しているのか。単に税率の改正だけで改善できるものであれば行政は怠慢、議会は市民の声を聞いていないのではないかと。今回質問11名。後の7名どうしたか。